

# ニュージーランド・ ボンド・オープン (毎月決算型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年1カ月間 (2014年11月4日～2024年11月18日)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ニュージーランド・ボンド・マザーファンドの受益証券
	ニュージーランド・ボンド・マザーファンド	ニュージーランド・ドル建債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、ニュージーランド・ドル建債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資対象は、国債等（国家機関、政府・地方政府、国際機関もしくはそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券を含みます。）および社債とします。</p> <p>ロ. 投資する債券は、取得時においてB B B格相当以上（ムーディーズでB a a 3以上、S &amp; PでB B B-以上またはフィッチでB B B-以上）の格付けを有することを基本とします。</p> <p>ハ. 国債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ニ. 運用の効率化を図るため、ニュージーランド・ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③外貨建資産への組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

## 運用報告書(全体版)

第30期 (決算日 2017年5月18日)  
 第31期 (決算日 2017年6月19日)  
 第32期 (決算日 2017年7月18日)  
 第33期 (決算日 2017年8月18日)  
 第34期 (決算日 2017年9月19日)  
 第35期 (決算日 2017年10月18日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ニュージーランド・ボンド・オープン（毎月決算型）」は、このたび、第35期の決算を行ないました。

ここに、第30期～第35期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティニュージーランド 国債インデックス（円換算）		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	（分配落）	税込み 分配金	期騰 落率	（参考指数）	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6期末(2015年5月18日)	10,398	25	△ 3.6	10,594	△ 3.6	96.3	—	112
7期末(2015年6月18日)	9,977	25	△ 3.8	10,189	△ 3.8	95.3	—	108
8期末(2015年7月21日)	9,723	25	△ 2.3	9,999	△ 1.9	96.8	—	105
9期末(2015年8月18日)	9,731	25	0.3	10,048	0.5	96.9	—	106
10期末(2015年9月18日)	9,024	25	△ 7.0	9,350	△ 6.9	96.6	—	98
11期末(2015年10月19日)	9,597	25	6.6	9,983	6.8	95.7	—	105
12期末(2015年11月18日)	9,412	25	△ 1.7	9,775	△ 2.1	97.4	—	103
13期末(2015年12月18日)	9,586	25	2.1	10,029	2.6	97.3	—	104
14期末(2016年1月18日)	8,874	25	△ 7.2	9,365	△ 6.6	96.8	—	92
15期末(2016年2月18日)	8,924	25	0.8	9,493	1.4	97.4	—	93
16期末(2016年3月18日)	9,009	25	1.2	9,635	1.5	97.9	—	92
17期末(2016年4月18日)	8,848	25	△ 1.5	9,507	△ 1.3	97.1	—	91
18期末(2016年5月18日)	8,829	25	0.1	9,524	0.2	97.1	—	91
19期末(2016年6月20日)	8,879	25	0.8	9,622	1.0	97.1	—	91
20期末(2016年7月19日)	8,953	25	1.1	9,730	1.1	97.5	—	92
21期末(2016年8月18日)	8,751	25	△ 2.0	9,538	△ 2.0	97.6	—	90
22期末(2016年9月20日)	8,881	25	1.8	9,674	1.4	97.3	—	91
23期末(2016年10月18日)	8,888	25	0.4	9,724	0.5	97.4	—	91
24期末(2016年11月18日)	9,062	25	2.2	9,946	2.3	97.4	—	93
25期末(2016年12月19日)	9,450	25	4.6	10,397	4.5	97.4	—	97
26期末(2017年1月18日)	9,414	25	△ 0.1	10,411	0.1	96.9	—	97
27期末(2017年2月20日)	9,347	25	△ 0.4	10,340	△ 0.7	96.9	—	96
28期末(2017年3月21日)	9,200	25	△ 1.3	10,199	△ 1.4	94.4	—	94
29期末(2017年4月18日)	8,980	25	△ 2.1	9,985	△ 2.1	94.5	—	92
30期末(2017年5月18日)	9,060	25	1.2	10,096	1.1	94.5	—	93
31期末(2017年6月19日)	9,527	25	5.4	10,651	5.5	95.8	—	98
32期末(2017年7月18日)	9,578	25	0.8	10,724	0.7	95.8	—	98
33期末(2017年8月18日)	9,375	25	△ 1.9	10,551	△ 1.6	95.7	—	96
34期末(2017年9月19日)	9,472	25	1.3	10,677	1.2	95.7	—	97
35期末(2017年10月18日)	9,411	25	△ 0.4	10,643	△ 0.3	95.8	—	97

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティニュージーランド国債インデックス（円換算）は、シティニュージーランド国債インデックス（ニュージーランド・ドルベース）のデータをもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

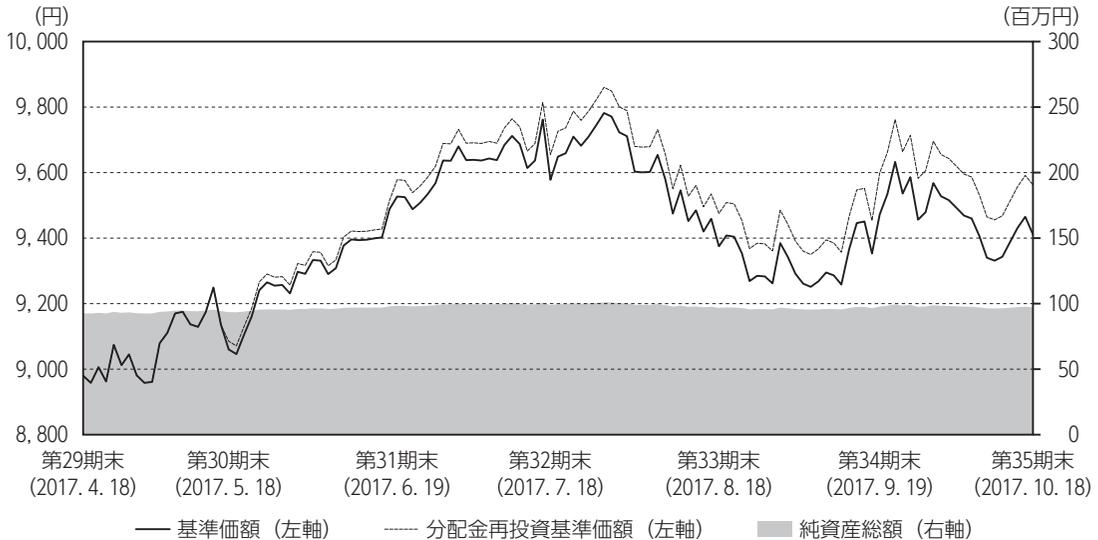
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第30期首：8,980円

第35期末：9,411円 (既払分配金150円)

騰落率：6.5% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入やニュージーランド・ドルが円に対して上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ニュージーランド・ボンド・オープン (毎月決算型)

	年 月 日	基 準 価 額		シティニュージーランド 国債インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
第30期	(期首) 2017年 4月18日	8,980	—	9,985	—	94.5	—
	4月末	8,958	△ 0.2	9,937	△ 0.5	94.4	—
	(期末) 2017年 5月18日	9,085	1.2	10,096	1.1	94.5	—
第31期	(期首) 2017年 5月18日	9,060	—	10,096	—	94.5	—
	5月末	9,297	2.6	10,364	2.6	93.6	—
	(期末) 2017年 6月19日	9,552	5.4	10,651	5.5	95.8	—
第32期	(期首) 2017年 6月19日	9,527	—	10,651	—	95.8	—
	6月末	9,638	1.2	10,774	1.2	95.7	—
	(期末) 2017年 7月18日	9,603	0.8	10,724	0.7	95.8	—
第33期	(期首) 2017年 7月18日	9,578	—	10,724	—	95.8	—
	7月末	9,723	1.5	10,895	1.6	95.7	—
	(期末) 2017年 8月18日	9,400	△ 1.9	10,551	△ 1.6	95.7	—
第34期	(期首) 2017年 8月18日	9,375	—	10,551	—	95.7	—
	8月末	9,343	△ 0.3	10,507	△ 0.4	95.6	—
	(期末) 2017年 9月19日	9,497	1.3	10,677	1.2	95.7	—
第35期	(期首) 2017年 9月19日	9,472	—	10,677	—	95.7	—
	9月末	9,528	0.6	10,742	0.6	95.6	—
	(期末) 2017年10月18日	9,436	△ 0.4	10,643	△ 0.3	95.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2017. 4. 19 ~ 2017. 10. 18)

**■ニュージーランド債券市況**

ニュージーランド債券市況は、当作成期間を通して金利はおおむね横ばいとなりました。

第30期首より、フランス大統領選挙の結果などが金利上昇の材料となった一方で、米国トランプ大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑への懸念が高まったことなどが、金利低下の材料となりました。2017年6月下旬からは、先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させる中で金利が上昇しましたが、その後は、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されたことなどが金利低下の材料となりました。9月中旬にかけては、市場のリスク回避姿勢が後退したことや、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから、金利は上昇しました。

**■為替相場**

ニュージーランド・ドルは、当作成期間を通して上昇（円安）しました。

第30期首より、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が通貨安を望む姿勢を後退させたことなどから、ニュージーランド・ドル円は上昇しました。先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させる中で内外の金利差が拡大傾向となったことなども、円安の材料となりました。2017年8月以降は、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されて市場のリスク回避姿勢が強まったことや、中央銀行高官から為替市場への介入の可能性を示唆する発言があったことなどから、ニュージーランド・ドル円は下落しました。9月中旬にかけては、市場のリスク回避姿勢が後退したことなどからニュージーランド・ドル円は上昇しましたが、その後はニュージーランドの総選挙で過半数を確保した政党が出ず、政治の先行き不透明感が高まったこともあり、ニュージーランド・ドル円の上昇幅は縮小しました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ニュージーランド・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

### ■ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ポートフォリオの修正デュレーションは、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて調整する方針です。

## ポートフォリオについて

(2017. 4. 19 ~ 2017. 10. 18)

### ■当ファンド

「ニュージーランド・ボンド・マザーファンド」への投資割合を高位に維持しました。

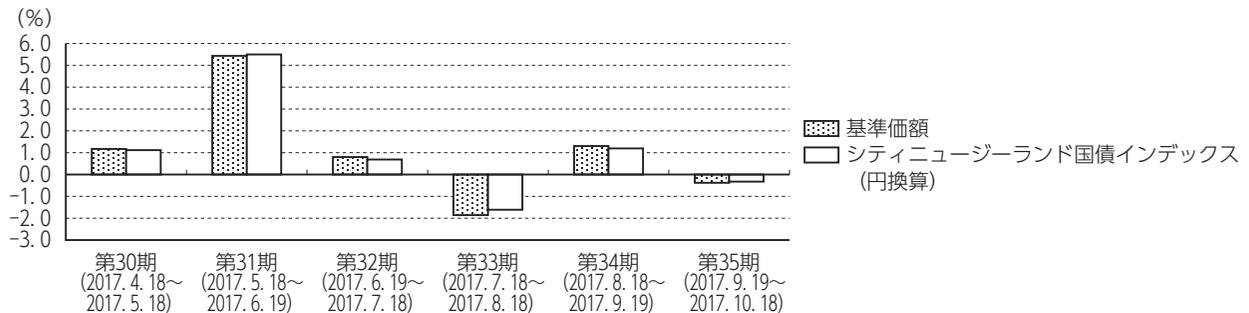
### ■ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しを考慮して対応を行ないました。債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めを保ちました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは運用方針により、参考指数と比較して国債以外の債券（州債、事業債等）が投資対象に含まれるという特徴があります。参考指数はニュージーランドの債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しておりません。



## 分配金について

第30期から第35期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ25円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2017年4月19日 ～2017年5月18日	2017年5月19日 ～2017年6月19日	2017年6月20日 ～2017年7月18日	2017年7月19日 ～2017年8月18日	2017年8月19日 ～2017年9月19日	2017年9月20日 ～2017年10月18日
当期分配金（税込み）（円）	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率（%）	0.28	0.26	0.26	0.27	0.26	0.26
当期の収益（円）	25	25	25	25	25	23
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	1
翌期繰越分配対象額（円）	933	944	950	950	959	957

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
(a) 経費控除後の配当等収益	30.51円	35.74円	30.43円	25.32円	33.53円	23.20円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	64.56	64.56	64.56	64.56	64.56	64.56
(d) 分配準備積立金	863.89	869.40	880.14	885.58	885.90	894.43
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	958.96	969.71	975.14	975.47	984.00	982.20
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	933.96	944.71	950.14	950.47	959.00	957.20

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ニュージーランド・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

### ■ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ポートフォリオの修正デュレーションは、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて調整する方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 4. 19~2017. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	60円	0.638%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,402円です。
（投 信 会 社）	(25)	(0.270)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(33)	(0.352)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.035	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0.011)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	63	0.673	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ニュージーランド・ボンド・オープン（毎月決算型）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年4月19日から2017年10月18日まで)

決算期	第30期～第35期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニュージーランド・ボンド・マザーファンド	—	—	2,073	2,186

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当作成期間（第30期～第35期）中における利害関係人との取引はありません。

### ■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

第30期首保有額	当作成期間中設定額	当作成期間中解約額	第35期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年5月18日)、(2017年6月19日)、(2017年7月18日)、(2017年8月18日)、(2017年9月19日)、(2017年10月18日)現在

項目	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末
<b>(A) 資産</b>	<b>93,865,303円</b>	<b>98,692,152円</b>	<b>99,210,266円</b>	<b>97,123,064円</b>	<b>98,124,882円</b>	<b>97,484,511円</b>
コール・ローン等	803,503	825,943	832,271	831,860	818,072	817,154
ニュージーランド・ボンド・マザーファンド（評価額）	93,061,800	97,866,209	98,377,995	96,291,204	97,306,810	96,667,357
<b>(B) 負債</b>	<b>356,540</b>	<b>366,417</b>	<b>360,580</b>	<b>368,089</b>	<b>368,772</b>	<b>360,783</b>
未払収益分配金	258,015	258,015	258,015	258,015	258,015	258,015
未払信託報酬	97,921	107,132	100,665	107,508	107,519	98,920
その他未払費用	604	1,270	1,900	2,566	3,238	3,848
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>93,508,763</b>	<b>98,325,735</b>	<b>98,849,686</b>	<b>96,754,975</b>	<b>97,756,110</b>	<b>97,123,728</b>
元本	103,206,076	103,206,076	103,206,076	103,206,076	103,206,076	103,206,076
次期繰越損益金	△ 9,697,313	△ 4,880,341	△ 4,356,390	△ 6,451,101	△ 5,449,966	△ 6,082,348
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>	<b>103,206,076口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	9,060円	9,527円	9,578円	9,375円	9,472円	9,411円

\* 第29期末における元本額は103,206,076円、当作成期間（第30期～第35期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

\* 第35期末の計算口数当りの純資産額は9,411円です。

\* 第35期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,082,348円です。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種類	第29期末	第35期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ニュージーランド・ボンド・マザーファンド	92,688	90,614	96,667

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2017年10月18日現在

項目	第35期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニュージーランド・ボンド・マザーファンド	96,667	99.2
コール・ローン等、その他	817	0.8
投資信託財産総額	97,484	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1ニュージーランド・ドル＝80.40円です。

(注3) ニュージーランド・ボンド・マザーファンドにおいて、第35期末における外貨建純資産（96,369千円）の投資信託財産総額（96,670千円）に対する比率は、99.7%です。

■損益の状況

第30期 自 2017年 4月19日 至 2017年 5月18日 第32期 自 2017年 6月20日 至 2017年 7月18日 第34期 自 2017年 8月19日 至 2017年 9月19日  
 第31期 自 2017年 5月19日 至 2017年 6月19日 第33期 自 2017年 7月19日 至 2017年 8月18日 第35期 自 2017年 9月20日 至 2017年10月18日

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
(A) 配当等収益	△ 13円	△ 5円	△ 4円	△ 3円	△ 4円	△ 4円
支払利息	△ 13	△ 5	△ 4	△ 3	△ 4	△ 4
(B) 有価証券売買損益	1,189,894	5,182,790	883,265	1,728,519	1,367,345	274,833
売買益	1,189,894	5,182,790	883,265	—	1,367,345	—
売買損	—	—	—	△ 1,728,519	—	△ 274,833
(C) 信託報酬等	△ 98,527	△ 107,798	△ 101,295	△ 108,174	△ 108,191	△ 99,530
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,091,354	5,074,987	781,966	1,836,696	1,259,150	374,367
(E) 前期繰越損益金	△ 10,880,438	△ 10,047,099	△ 5,230,127	△ 4,706,176	△ 6,800,887	△ 5,799,752
(F) 追加信託差損益金	349,786	349,786	349,786	349,786	349,786	349,786
(配当等相当額)	( 666,331)	( 666,331)	( 666,331)	( 666,331)	( 666,331)	( 666,331)
(売買損益相当額)	(△ 316,545)	(△ 316,545)	(△ 316,545)	(△ 316,545)	(△ 316,545)	(△ 316,545)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 9,439,298	△ 4,622,326	△ 4,098,375	△ 6,193,086	△ 5,191,951	△ 5,824,333
(H) 収益分配金	△ 258,015	△ 258,015	△ 258,015	△ 258,015	△ 258,015	△ 258,015
次期繰越損益金 (G + H)	△ 9,697,313	△ 4,880,341	△ 4,356,390	△ 6,451,101	△ 5,449,966	△ 6,082,348
追加信託差損益金	349,786	349,786	349,786	349,786	349,786	349,786
(配当等相当額)	( 666,331)	( 666,331)	( 666,331)	( 666,331)	( 666,331)	( 666,331)
(売買損益相当額)	(△ 316,545)	(△ 316,545)	(△ 316,545)	(△ 316,545)	(△ 316,545)	(△ 316,545)
分配準備積立金	8,972,785	9,083,653	9,139,763	9,143,101	9,231,148	9,212,576
繰越損益金	△ 19,019,884	△ 14,313,780	△ 13,845,939	△ 15,943,988	△ 15,030,900	△ 15,644,710

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
(a) 経費控除後の配当等収益	314,895円	368,883円	314,125円	261,353円	346,062円	239,443円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	666,331	666,331	666,331	666,331	666,331	666,331
(d) 分配準備積立金	8,915,905	8,972,785	9,083,653	9,139,763	9,143,101	9,231,148
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	9,897,131	10,007,999	10,064,109	10,067,447	10,155,494	10,136,922
(f) 分配金	258,015	258,015	258,015	258,015	258,015	258,015
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	9,639,116	9,749,984	9,806,094	9,809,432	9,897,479	9,878,907
(h) 受益権総口数	103,206,076口	103,206,076口	103,206,076口	103,206,076口	103,206,076口	103,206,076口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円
（単 価）	(9,060円)	(9,527円)	(9,578円)	(9,375円)	(9,472円)	(9,411円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

## 運用報告書 第6期 (決算日 2017年10月18日)

(計算期間 2017年4月19日～2017年10月18日)

ニュージーランド・ボンド・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ニュージーランド・ドル建債券
運用方法	<p>①主として、ニュージーランド・ドル建債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資対象は、国債等（国家機関、政府・地方政府、国際機関もしくはそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券を含みます。）および社債とします。</p> <p>ロ. 投資する債券は、取得時においてB B B格相当以上（ムーディーズでB a a 3以上、S &amp; PでB B B-以上またはフィッチでB B B-以上）の格付けを有することを基本とします。</p> <p>ハ. 国債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ニ. 運用の効率化を図るため、ニュージーランド・ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③外貨建資産への組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

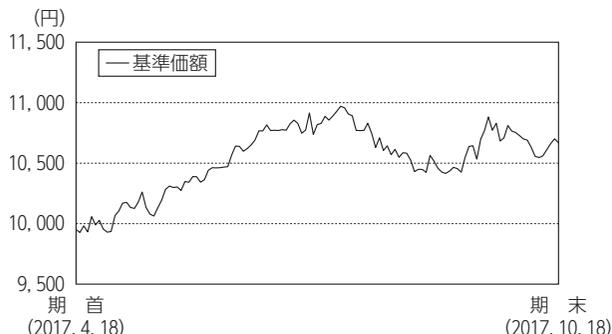
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		シティニュージーランド 国債インデックス (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2017年 4月18日	9,951	—	9,985	—	94.9	—
4月末	9,930	△ 0.2	9,937	△ 0.5	94.8	—
5月末	10,348	4.0	10,364	3.8	94.0	—
6月末	10,770	8.2	10,774	7.9	96.1	—
7月末	10,906	9.6	10,895	9.1	96.1	—
8月末	10,517	5.7	10,507	5.2	96.0	—
9月末	10,765	8.2	10,742	7.6	96.1	—
(期末) 2017年10月18日	10,668	7.2	10,643	6.6	96.2	—

- (注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) シティニュージーランド国債インデックス(円換算)は、シティニュージーランド国債インデックス(ニュージーランド・ドルベース)のデータをもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。  
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。  
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。  
 (注5) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,951円 期末：10,668円 騰落率：7.2%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入やニュージーランド・ドルが円に対して上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○ニュージーランド債券市況

ニュージーランド債券市況は、期を通して金利はおおむね横ばいとなりました。

期首より、フランス大統領選挙の結果などが金利上昇の材料となった一方で、米国トランプ大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑への懸念が高まったことなどが、金利低下の材料となりました。2017年6月下旬からは、先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させる中で金利が上昇しましたが、その後は、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されたことなどが金利低下の材料となりました。9月中旬にかけては、市場のリスク回避姿勢が後退したことや、FOMC(米連邦公開市場委員会)において年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから、金利は上昇しました。

○為替相場

ニュージーランド・ドルは、期を通して上昇(円安)しました。

期首より、RBNZ(ニュージーランド準備銀行)が通貨安を望む姿勢を後退させたことなどから、ニュージーランド・ドル円は上昇しました。先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させる中で内外の金利差が拡大傾向となったことなども、円安の材料となりました。2017年8月以降は、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されて市場のリスク回避姿勢が強まったことや、中央銀行高官から為替市場への介入の可能性を示唆する発言があったことなどから、ニュージーランド・ドル円は下落しました。9月中旬にかけては、市場のリスク回避姿勢が後退したことなどからニュージーランド・ドル円は上昇しましたが、その後はニュージーランドの総選挙で過半数を確保した政党が出ず、政治の先行き不透明感が高まったこともあり、ニュージーランド・ドル円の上昇幅は縮小しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。ポートフォリオの修正デューレーションは、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて調整する方針です。

◆ポートフォリオについて

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。ポートフォリオの修正デューレーションについては、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しを考慮して対応を行いません。債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

当ファンドは運用方針により、参考指数と比較して国債以外の債券が投資対象に含まれるという特徴があります。参考指数はニュージーランドの債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主として、ニュージーランド・ドル建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。ポートフォリオの修正デューレーションは、市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて調整する方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	3 ( 2)
(その他)	( 1)
合 計	3

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2017年 4月19日から2017年10月18日まで)

外 国	ニュージーランド	買 付 額 千ニュージーランド・ドル	売 付 額 千ニュージーランド・ドル
		39	—
		—	( 10)
		25	( 40)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注 4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年 4月19日から2017年10月18日まで)

買 付 銘 柄	金 額 千円	当 期 売 付 銘 柄	金 額 千円
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC (ニュージーランド) 5.5% 2023/4/15	3,127		
Westpac Securities NZ Ltd (ニュージーランド) 5.125% 2019/10/3	2,065		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期 評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ニュージーランド	1,104	1,156	92,998	96.2	—	38.5	36.7	21.0

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## ニュージーランド・ボンド・マザーファンド

### (2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期		末		償還年月日
				額 面 金 額	評 価 額	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ニュージーランド	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	国債証券	4.5000	30	33	2,721	2027/04/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	国債証券	3.5000	50	51	4,126	2033/04/14	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	国債証券	2.7500	100	89	7,203	2037/04/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	5.5000	175	195	15,719	2023/04/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	6.0000	100	110	8,919	2021/05/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	2.7500	50	47	3,801	2025/04/15	
	Auckland Council	地方債証券	5.8060	40	45	3,654	2024/03/25	
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	4.5000	30	31	2,524	2020/08/20	
	BK. NEDERLANDSE GEMEENTEN	特殊債券	4.1250	20	20	1,617	2018/03/05	
	KOMMUNALBANKEN	特殊債券	5.0000	20	20	1,666	2019/03/28	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	4.6250	30	31	2,572	2021/10/06	
	National Australia Bank Ltd	社 債 券	5.6250	30	31	2,547	2019/11/22	
	Cooperatieve Rabobank UA	社 債 券	5.1250	40	42	3,382	2020/04/17	
	Westpac Securities NZ Ltd	社 債 券	5.1250	24	25	2,011	2019/10/03	
	Transpower New Zealand Ltd	社 債 券	4.6500	40	41	3,333	2019/09/06	
	Toronto-Dominion Bank/The	社 債 券	4.2500	10	10	810	2018/04/03	
	Fonterra Co-operative Group Ltd	社 債 券	4.3300	45	47	3,780	2021/10/20	
	BNP Paribas SA	社 債 券	5.8750	30	31	2,551	2019/12/04	
	General Electric Capital Corp	社 債 券	4.2500	30	30	2,423	2018/01/17	
	CITIGROUP INC.	社 債 券	5.1300	30	31	2,514	2019/11/12	
	GOLDMAN SACHS GROUP INC.	社 債 券	5.2000	40	41	3,359	2019/12/17	
	ABN AMRO Bank NV	社 債 券	6.0000	40	42	3,378	2019/06/17	
	AUST & NZ BANK	社 債 券	5.1250	40	41	3,360	2019/12/08	
	Commonwealth Bank of Australia	社 債 券	5.1250	60	62	5,016	2019/08/01	
合 計	銘柄数	24銘柄						
	金 額			1,104	1,156	92,998		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2017年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	92,998	96.2
コール・ローン等、その他	3,672	3.8
投資信託財産総額	96,670	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1ニュージーランド・ドル=80.40円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (96,369千円) の投資信託財産総額 (96,670千円) に対する比率は、99.7%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	96,670,843円
コール・ローン等	2,533,503
公社債 (評価額)	92,998,378
未収利息	1,138,962
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	96,670,843
元本	90,614,321
次期繰越損益金	6,056,522
(D) 受益権総口数	90,614,321口
1万口当り基準価額 (C/D)	10,668円

\* 期首における元本額は92,688,153円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は2,073,832円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ニュージーランド・ボンド・オープン (毎月決算型) 90,614,321円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,668円です。

■損益の状況

当期 自2017年4月19日 至2017年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,165,909円
受取利息	2,165,917
支払利息	△ 8
(B) 有価証券売買損益	4,484,167
売買益	4,789,757
売買損	△ 305,590
(C) その他費用	△ 30,498
(D) 当期損益金 (A + B + C)	6,619,578
(E) 前期繰越損益金	△ 450,322
(F) 解約差損益金	△ 112,734
(G) 合計 (D + E + F)	6,056,522
次期繰越損益金 (G)	6,056,522

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。